

# 財団法人箕面市医療保健センター 経営改善計画



平成23年3月

財団法人 箕面市医療保健センター

# 【目次】

- 1. 財団法人箕面市医療保健センターの役割 . . . P 3
- 2. 経営改善計画策定の背景と方針 . . . . . P 5
- 3. 現在までの経営状況 . . . . . P 7
- 4. 経営改善の具体的な取り組み . . . . . P 9
- 5. 評価・公表等 . . . . . P 14
- (参考) 今後10年間の医療機器整備計画 (概要) P 15





# 1. 財団法人箕面市医療保健センターの役割

## (1) 基本理念

### **市民に信頼される健康保持・増進の拠点施設をめざして**

- ① 市民の健康の保持・増進や健康管理、こどもの急病診療を行い、関係機関や地域医療との緊密な連携のもと、市民に信頼され、市民の宝となる拠点施設をめざします。
- ② 将来にわたって持続して安定した保健・医療サービスが提供できるよう、箕面市立医療保健センター及び同分室（豊能広域こども急病センター）の健全な経営に努めます。

## (2) 基本方針

### ①箕面市立医療保健センター

疾病の予防・早期発見など、市民の健康保持・増進の拠点として、独立採算を基本とした経営改善、医療機器の独自調達及び独自の人材確保・育成による収支改善に取り組み、健全な経営基盤を確立します。

#### (ア) 保健センター

- ◆地域住民の健康保持・増進を図るため、総合健康診断をはじめ各種がん検診及び特定健康診査等の事業を実施

#### (イ) 予防歯科センター

- ◆丈夫な永久歯をめざし、満1歳から15歳までのこどもに 歯科検診・ブラッシング指導・フッ素塗布を実施

### ②豊能広域こども急病センター

豊能医療圏（豊中市・池田市・吹田市・箕面市・豊能町・能勢町）における小児の夜間・休日等における初期診療を行う救急医療機関として、効率的な事業運営を推進します。

## 2. 経営改善計画策定の背景と方針

### (1) 策定の背景

- ① 平成18年度からの指定管理者の受託にあたり、平成17年12月に策定した経営改革計画（平成18～22年度までの5カ年）に基づき、健全経営に向けた取り組みを進め、一定の成果をあげてきました。
- ② 平成23年度からの次期指定管理者の応募にあたり、より一層、市民に信頼・評価される施設となるよう、独立採算を基本とした更なる経営改革の推進と、安定したサービス提供を図るため、本計画を策定します。



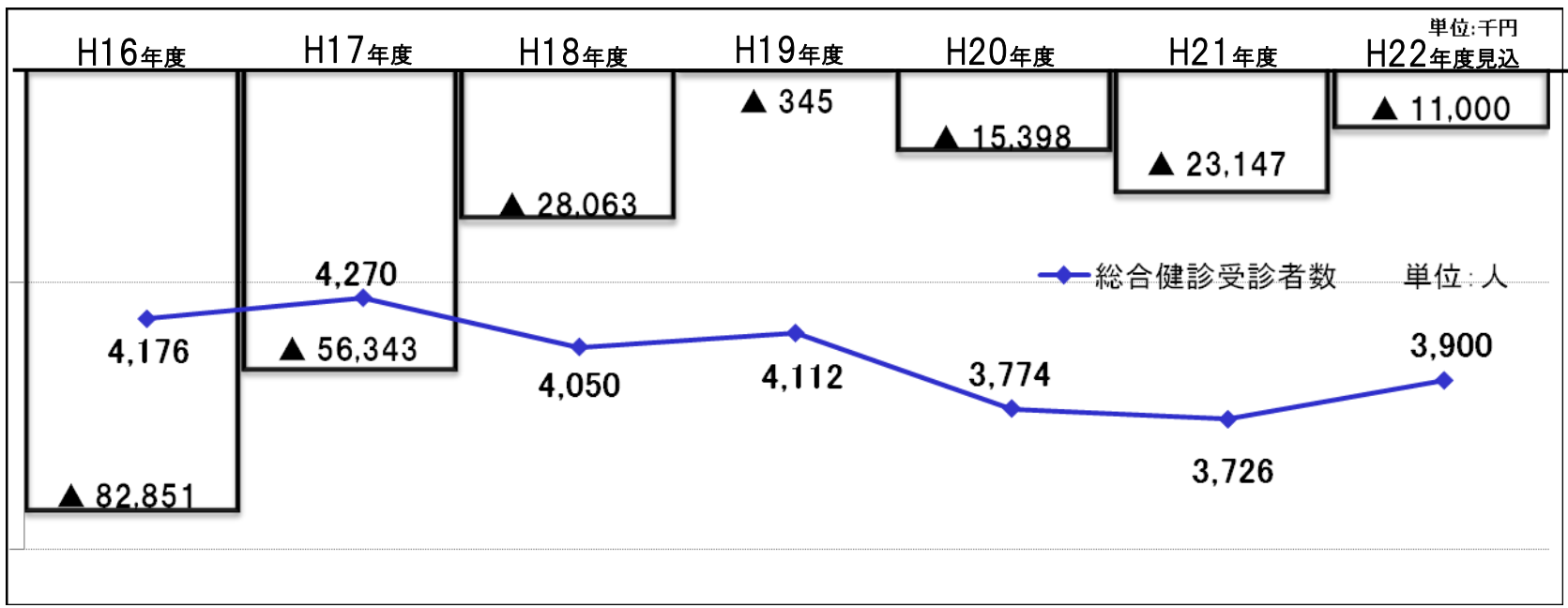
## (2) 改善の方針

- ① 経営基盤の安定化を図るため、組織体制の強化・充実を図ります。
- ② 保健センターと予防歯科センターの経営は、箕面市からの収支差補助を受けずに、かつ医療機器等の計画的な独自調達を行います。
- ③ 豊能広域こども急病センターの経営は、収支不足額の縮減をめざします。



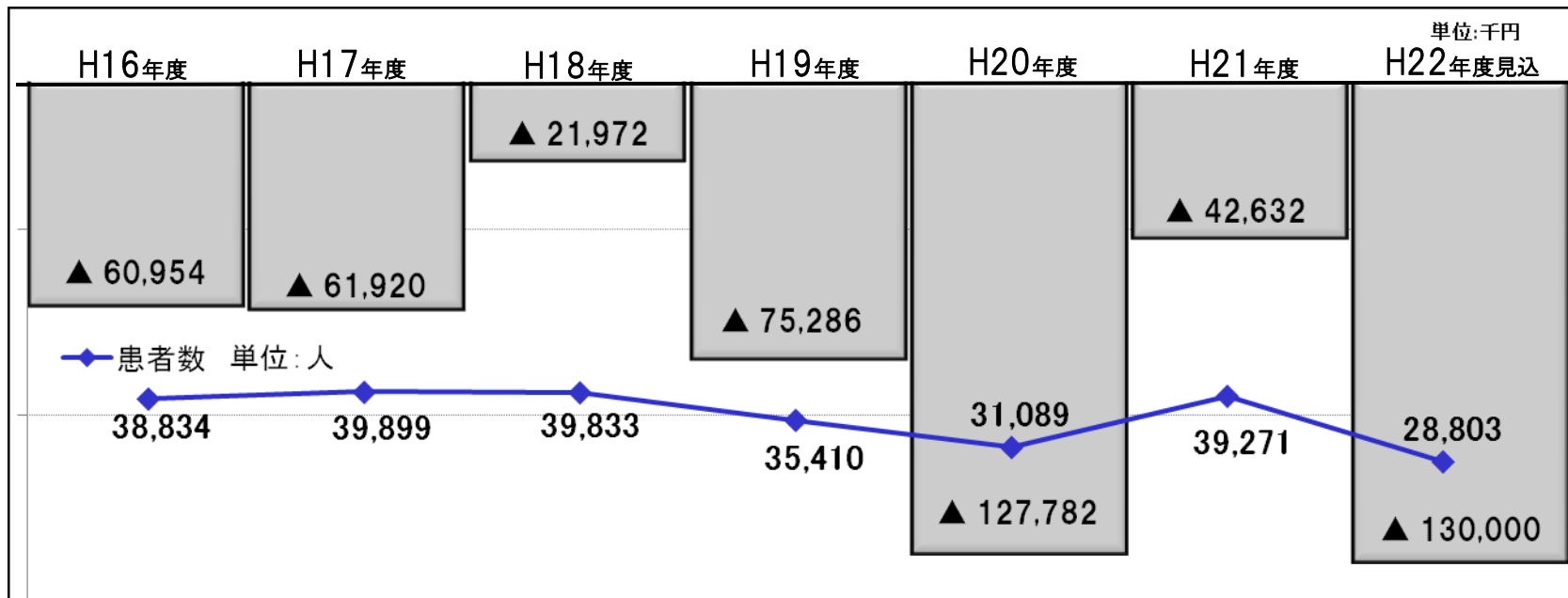
### 3. 現在までの経営状況（平成16～22年度）

#### 医療保健センター(一般会計)収支差額



- 特記事項**
- 検診収入の贈
  - 検診収入の増  
➢ 看護師・臨床検査技師各1名を削減
  - 検診収入の増  
➢ 事務職員1名を削減
  - 検診制度変更に伴う受診者数の減
  - 新型インフルエンザ流行に伴うセンター閉鎖による受診者数の減
  - 検診収入の増  
➢ 非常勤事務職員1名を削減

## こども急病センター(特別会計)収支差額



特記事項

- ▶ 診療報酬改定による診療単価の増加
- ▶ 感染症の発生減に伴う患者数の減少
- ▶ 阪神北広域こども急病センター開設に伴う患者数の減少
- ▶ 新型インフルエンザ流行に伴う患者数の増加
- ▶ 診療報酬改定による診療単価の増加  
▶ 患者数の減少見込

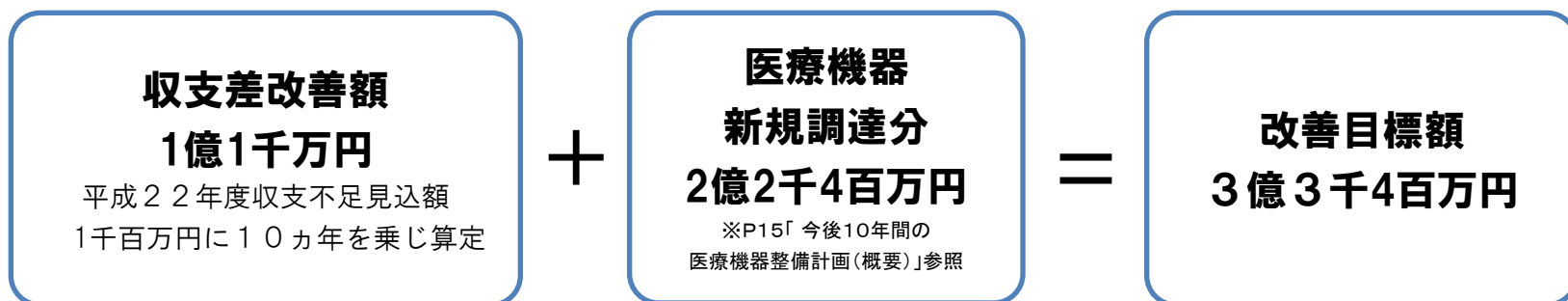




## 4. 経営改善の具体的な取り組み（10年間の効果額）

### ①箕面市立医療保健センター

今後10年間の改善目標額(収支差補助ゼロかつ医療機器自己調達)



今後10年間での経営改善



**(1)収入増加**

9千8百万円増

- ① 総合健診、がん検診、特定健診などの受診者数拡大（8千8百万円）
- ② 大口団体割引制度の導入による団体契約の獲得（1千万円）
- ③ 各種団体への受診促進PRキャンペーンによる顧客の開拓
- ④ ホームページの充実ほかあらゆる媒体を活用しPRを強化など

**健診日程の見直し、健診定員枠拡大に伴う増加件数(年間)**

総合健診	100名
胃がん検診	230名
肺がん検診	200名
大腸がん検診	100名
女性特有のがん検診（子宮がん・乳がん）	110名
特定健康診査	300名

**(2)経費削減**

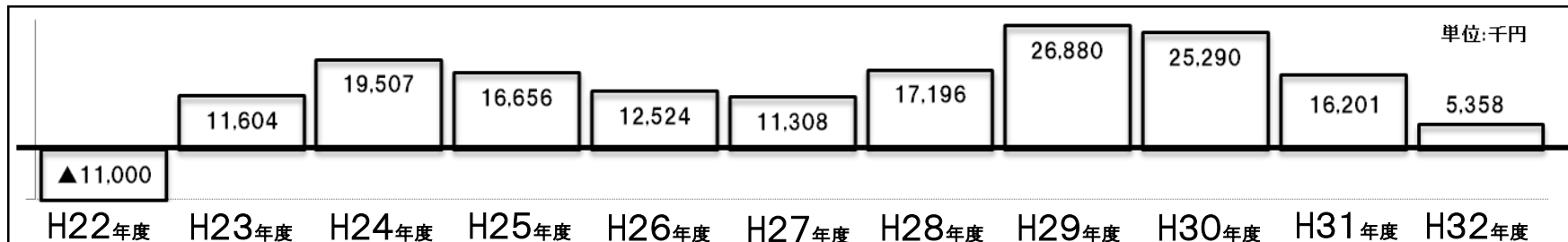
3億9千8百万円減

- ① 市派遣職員を縮減し任期付職員及び臨時職員の雇用（2億3千万円）
- ② 業務分担の見直しによる適正かつ効率的な人員配置の実施（1億4千万円）  
管理職の兼務化、役職者の縮減。
- ③ 施設管理をライフプラザ複合施設一括委託契約方式に見直しなど（2千8百万円）
- ④ 職員の独自人事給与・賃金制度の確立

**市派遣職員を縮減し任期付職員及び臨時職員の雇用**

	22年度	23年度	24年度
医師	常勤1名	—	—
保健師	常勤1名	—	—
看護師	常勤4名	1名削減⇒臨時職員等に対応	1名削減⇒臨時職員等に対応
検査技師	常勤3名	1名削減⇒臨時職員等に対応	—
放射線技師	常勤3名	1名削減⇒臨時職員等に対応	—
歯科衛生士	常勤1名	1名削減⇒任期付短時間勤務職員及び臨時職員等に対応	—
事務	常勤1名	1名削減⇒任期付短時間勤務職員（再任用）に対応	—
職員人数	14名	9名	8名

## 医療保健センター(一般会計)経営シミュレーション



【積算条件等】

・収入については、平成22年度受診者見込数にP10の受診増加件数を加え積算。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
収入合計	362,104	377,894	371,394	371,394	371,394	371,394	371,394	371,394	371,394	371,394	371,394
支出											
給与費	206,337	178,880	165,804	166,059	166,858	167,501	168,336	169,029	169,851	170,748	171,729
医療機器整備計画経費	—	20,909	22,921	25,017	28,350	28,923	22,200	11,823	12,591	20,783	30,645
委託料	70,988	64,923	64,923	64,923	64,923	64,923	64,923	64,923	64,923	64,923	64,923
その他経費	95,779	101,578	98,239	98,739	98,739	98,739	98,739	98,739	98,739	98,739	98,739
計	373,104	366,290	351,887	354,738	358,870	360,086	354,198	344,514	346,104	355,193	366,036
収支差額	▲11,000	11,604	19,507	16,656	12,524	11,308	17,196	26,880	25,290	16,201	5,358
10年間収支差額	—	162,524									
5年間収支差額	—	71,599									

## ②豊能広域こども急病センター

### (1)収入増加

- ① 豊能地域の小児救急医療の拠点施設であることをホームページやミニコミ紙他でPR
- ② 診療報酬改定時期に厚生労働省に対し引き上げを要望

### (2)経費削減 1億6千4百万円減

- ① 受診患者数の変動に伴い、医師等診療スタッフの配置人数を調整（1千万円）
- ② 施設管理をライフプラザ複合施設一括委託契約方式に見直し（1億円）
- ③ 医事業務を市立病院との一括契約方式に見直しなど（5千4百万円）

### (3)運営体制 の強化 1億1千9百万円増

- ① 着実な運営を図るため、マネジメント機能を担う常勤看護師の配置及び大阪大学医学部との連携を強化
- ② 感染症流行時は、医師他スタッフを増員配置し受入れ体制を充実

**上記の取り組みを強化し、今後10年間で4千5百万円の経営改善額を生み出す**

※各年度の収支不足額は、平成22年度見込額1億3千万円から毎年度450万円を縮減

※収入については、平成22年度患者見込数28,803人、平成22年度一人当たりの診療報酬単価13,000円を乗じ積算

## 5. 評価・公表等

### (1) 評価

- ① 四半期ごとに、運営状況のチェックと収支状況の比較・分析を行い、随時、目標達成に向け事業実施の充実を図ります。
- ② 毎年決算時、理事会において、本計画の進捗状況を報告し、評価と改善提案を行います。

### (2) 公表

評価結果は、ホームページにて公表します。





## (参考) 今後10年間の医療機器整備計画 (概要)

医療機器名等	機器更新の予定年度及び必要経費(単位:千円)										
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	計
胃部・胸部X線撮影装置	6,764	5,904	7,097	10,430	11,003	7,841	7,841	9,421	12,583	12,068	90,952
各種検査機器	2,152	2,762	3,665	3,665	3,665	1,730	1,182	370	3,774	4,322	27,287
血液等分析装置	2,307	4,569	4,569	4,569	4,569	2,943	1,831	1,831	3,457	4,569	35,214
検診情報システム	9,686	9,686	9,686	9,686	9,686	9,686	969	969	969	9,686	70,709
計	20,909	22,921	25,017	28,350	28,923	22,200	11,823	12,591	20,783	30,645	224,162

※ 賃借期間は、原則5年リース後3年再リース